

2017年 神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者追悼会 追悼文

「光陰矢のごとし」と言いますが1996年11月に「神戸電鉄敷設工事朝鮮人労働者の像」が建立されてもう21年になります。今日、21回目の神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者追悼会を迎えることになりました。

犠牲者13名のお名前を紹介します。

故韓啓文氏、趙鳳珠氏、金相燮氏、黄範寿氏、朴鍾述氏、金永得氏、姜太龍氏、
朴南權氏、金鳳斗氏、金東桂氏、李命福氏、姜学守氏、陳南述氏

あなた方は日本の朝鮮植民地支配によって故郷を離れ遠い異国の地である日本に生きる道を求め渡って来ました。そして、この地で鉄道工事に従事しました。当時、神戸電鉄敷設工事に、千数百人の朝鮮人が関わりました。工事に従事したのはほとんどが朝鮮人でした。この鉄道工事は危険で過酷な重労働でした。その上、賃金の未払いや、天引きなどの不当きわまりない行為があり、労働争議も多く、苦難の連続でした。そんな中、事故も多発し、5箇所の事故で13人が亡くなりました。新聞で報道された重傷者だけでも8人になります。

神戸電鉄は神戸市と周辺地域を結び、主要交通手段として、たくさんの人びとが日々の生活で利用していますが、朝鮮人の労働と犠牲の上に完成した事実を私たちは忘れることなく、伝えてゆかなければなりません。

「神戸電鉄敷設工事朝鮮人労働者の像」に今日まで日本の各地から、韓国からも多くの人びとが訪れ、犠牲者を追悼し、神戸電鉄工事と朝鮮人について歴史的事実を学んでゆきました。私たちは再び、人間を蔑視し、差別扱いすることが無い社会を作るため活動してきました。しかし20年を越えた今も、状況は厳しい物があります。

今、日本では衆議院選挙が行われています。大義のない自民党の醜い解散によるものです。連立与党はもちろん、野党と言われる人たちも憲法改正を叫び北の朝鮮を罵倒し戦争の危機を煽っています。今、日本の社会で過去の植民地支配の歴史を歪曲し、アジア太平洋戦争の犯罪を正当化しようとする人たちの声が大きくなっています。正に「大日本帝国」時代の21世紀版を作ろうとしているのが如きです。

私たちが在日コリアンの歴史的経緯を理解してもらい友好的関係を築こうと活動してきたことを思うと残念で悔しくてたまりません。

私たちは歴史を歪曲する行動に毅然と立ち向かい正しい真実を発信します。過去の歴史の真実を忘れずに後世に伝えて行きます。このモニュメントを通じて人権、平和の考えを広めて行きます。また日本と南の韓国、北の朝鮮、両国国民の友好関係が更に強められるよう努力しなければならないと決意を新たにしています。

犠牲者の皆さんのご冥福を心よりお祈りいたします。
安らかに眠り下さい。

2017年10月15日（日）
神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者を調査し追悼する会
会長 徐根植

39405